

第5回雲南懇話会 発表要旨

「ブータン・ヒマラヤにおける氷河縮小と氷河湖拡大」

広島工業大学 環境学部 地球環境学科

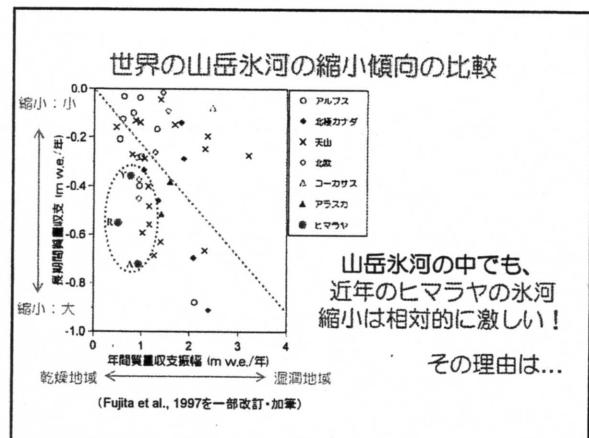
内藤 望

1998～2004年に実施されたブータン・ヒマラヤの氷河・氷河湖調査による研究成果について、その概要を紹介する。

近年、ヒマラヤの氷河縮小が顕著であるが、中でもブータンにおける氷河の縮小・後退は特に急速である。これはヒマラヤ地域の中でも特に夏期の降水が多いことが原因であろう。つまりヒマラヤの氷河特性である「夏雪型」氷河は温暖化に対して敏感に縮小するが、この特性がブータンでは際だっているためだと考えられる。

そして大型のデブリ氷河が縮小する際に形成される氷河湖の拡大が、その決壊洪水の危険性故に注目されている。隣接しながらも氷河湖の有無では対照的な二氷河に対する観測結果から、氷河湖拡大と上流部の氷河縮小（表面低下）との間に正のフィードバック機構が存在することを示唆した。また活発な Calving によって急速に拡大している氷河湖に対し、ほぼ安定といえる氷河湖も併存している。人工衛星画像を用いた広域的な氷河湖拡大速度の定量評価と、それを踏まえた氷河湖危険度評価の再検討が急務である。

ブータン・ヒマラヤにおける氷河縮小と氷河湖拡大

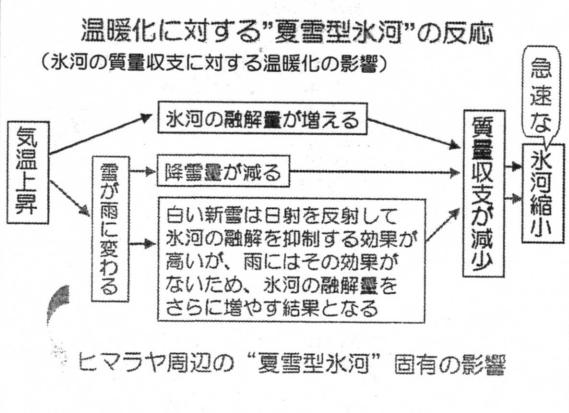


ヒマラヤの氷河の特徴（その1）

ヒマラヤでは、主に夏に雪が降る！

- ヒマラヤ周辺の気候
冬：気温は低いが、“乾季”的ため降水量は少ない。
夏：“雨季”にあたり一年間の降水量の大半が夏に集中。
氷河が存在する高所では、夏でも寒く、雪が降る！

こういう“夏雪型氷河”の場合には、“冬雪型氷河”よりも、温暖化に対する反応が敏感



対象地域： ブータン北西部

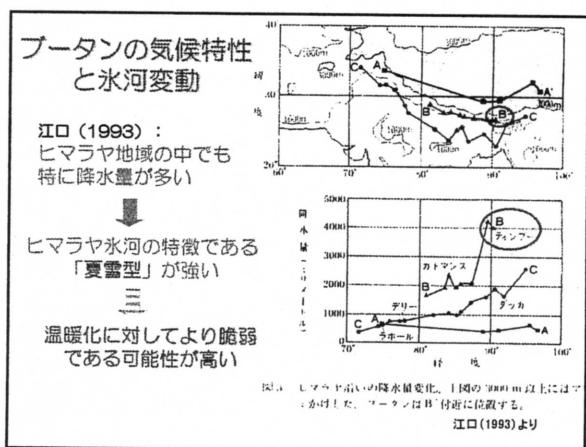


ブータンの気候特性 と氷河変動

江口(1993)：

ヒマラヤ氷河の特徴である
「夏雪型」が強い

温暖化に対してより脆弱
である可能性が高い



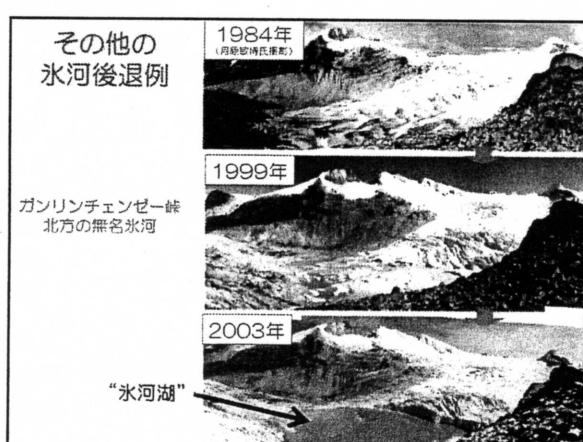
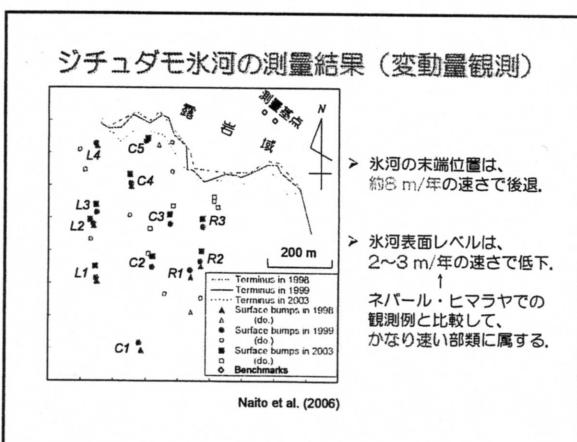
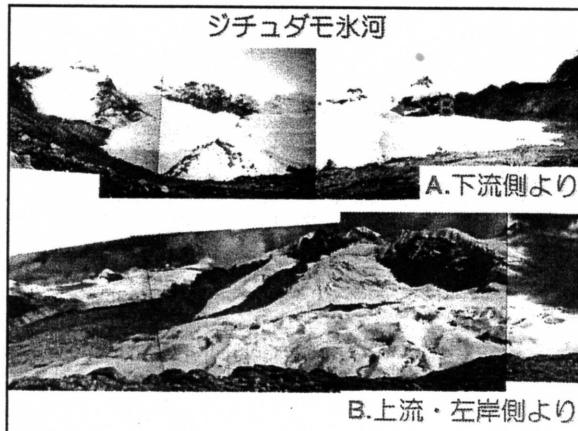
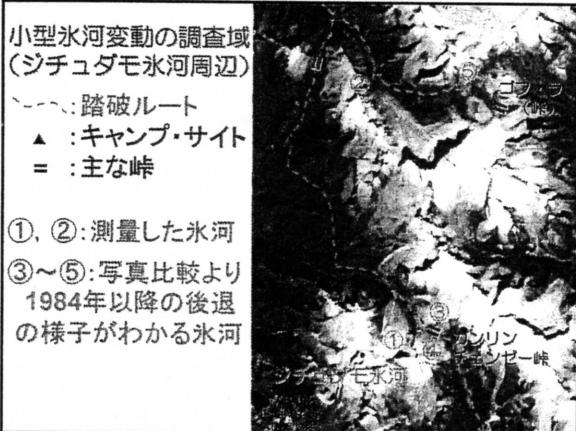
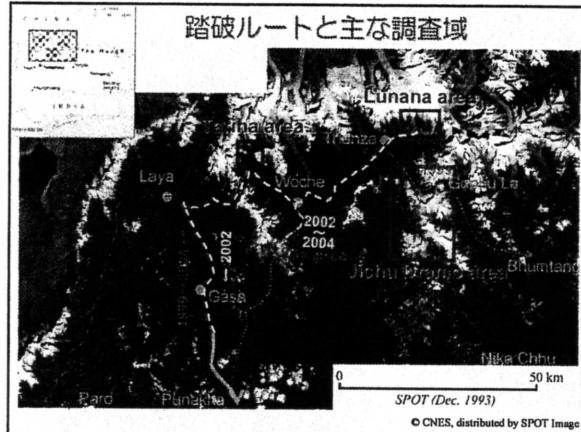
ブータンの氷河・氷河湖研究に関する前史・経緯 (あくまで個人的な背景紹介として)

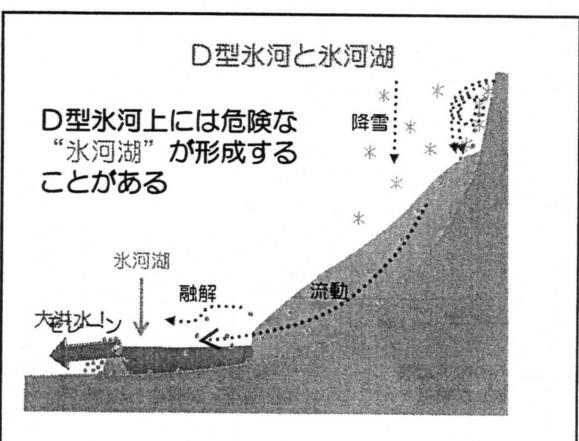
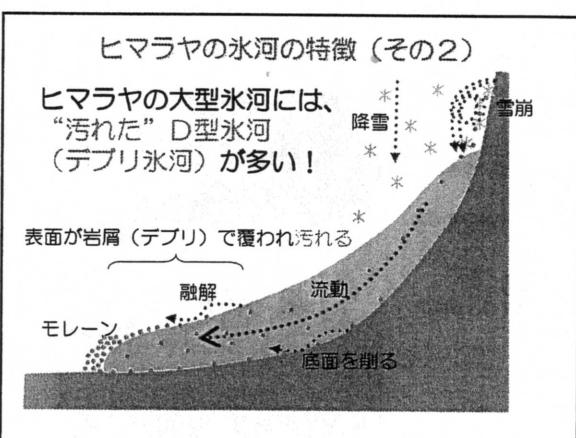
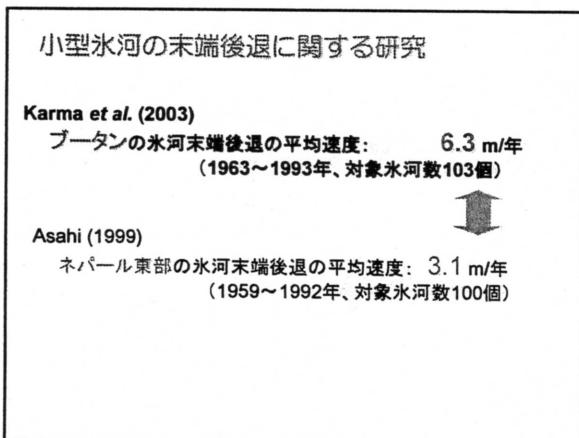
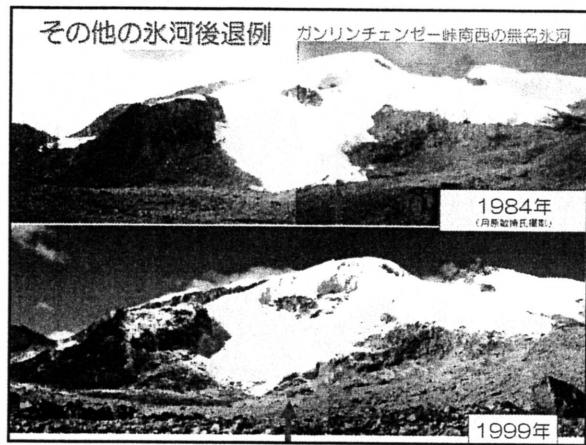
<前史>

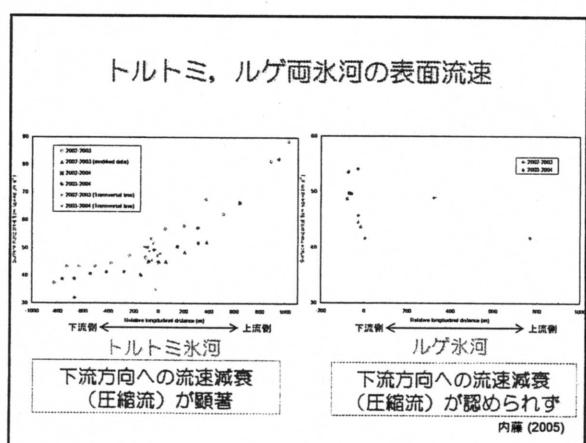
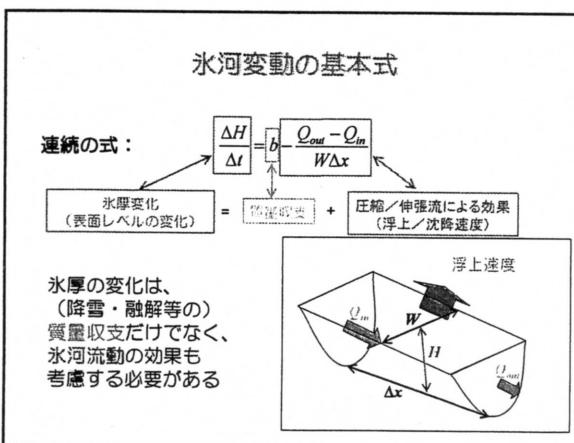
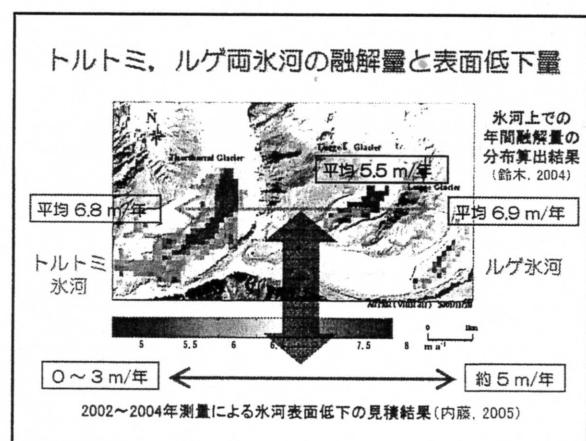
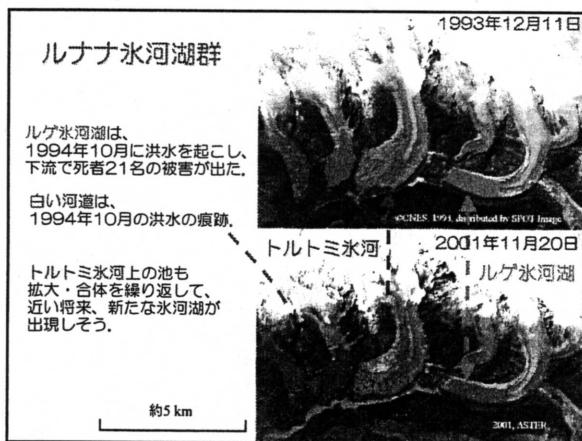
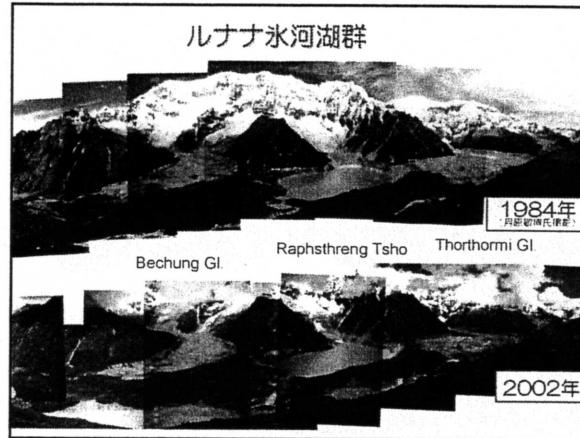
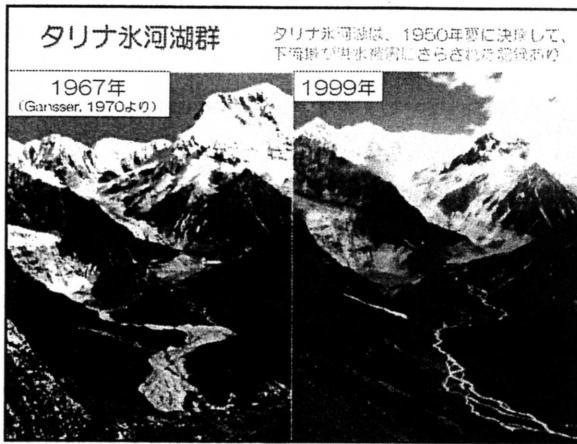
1963～77年 スイスの地質学者 A. Gansser、5回にわたるブータン全土の地質・氷河踏査
→ "Geology of the Bhutan Himalaya" をはじめ多巻の英文発表
1968年 上田哲さん、登山交渉のため短期間ブータン入国。故西岡京治氏にも面会
1982年 岩波、桑原武夫議「ブータン横断紀行」号を通じてブータンに関心を持ち始める
1983～65年 京大山岳部がブータン・ヒマラヤ踏査隊(B3)、ガンカ・ブンスム峰偵察隊(B4)、マサ・コン峰登山隊(B5)を派遣。一月原敏彦さん、横山宏太郎さんより多数の氷河写真を提供
1996年 インド、ブータン両地質調査所共同によるルナナ氷河湖群の予察調査

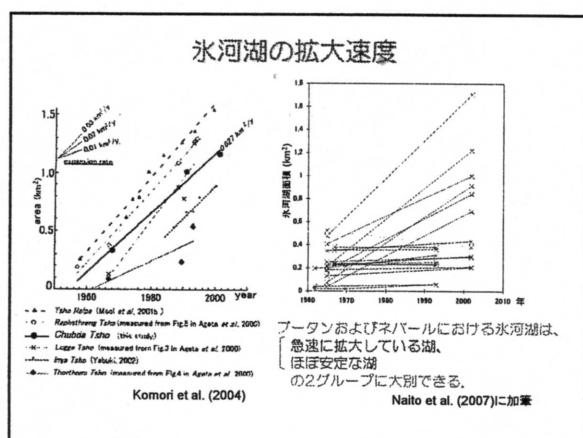
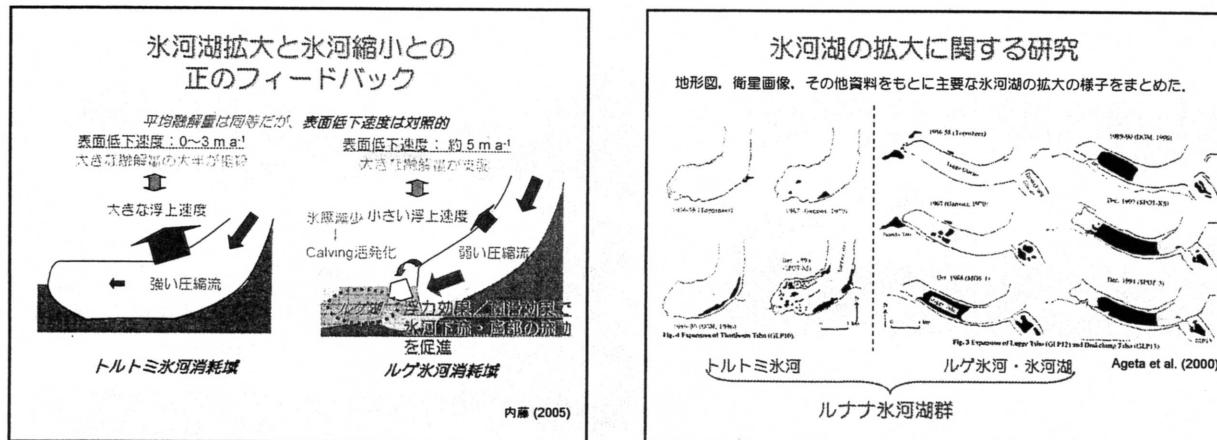
<経緯>

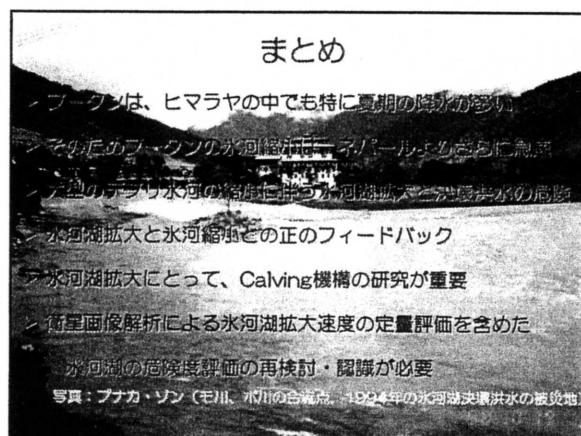
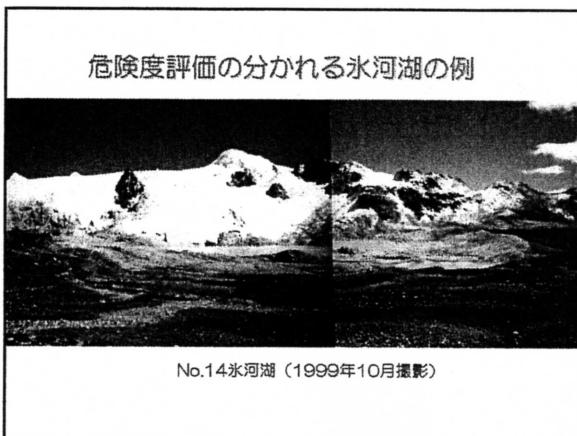
1994年10月 ルケ氷河湖の決壊洪水が発生。21名が犠牲に。
1995年 インド、ブータン両地質調査所共同によるルナナ氷河湖群の調査
★ 日本ブータン共同氷河・氷河湖調査
1996年 調査隊 (上田、岩波、内藤、坂井、奈良間、Karma)
1999年 調査隊 (岩波、西川)
2002年 調査隊 (山田、幸哉、内藤、佐木、Karma他8名) + (岩田、小森、Gurung)
2003年 調査隊 (上田、岩波、松田、鈴木、Karma)
(2004年 調査隊 (岩田、松田、鈴木、Karma)
これまで延べ6隊の調査を実施。
なお同時期にオーストリア地質グループによる調査も実施されている。











- 引用文献
- ◆ Ageta, Y., S. Iwata, H. Yabuki, N. Naito, A. Sakai, C. Narama and Karma (2000): Expansion of glacier lakes in recent decades in the Bhutan Himalayas. *Debris-Covered Glaciers*, IAHS Publ. no. 264, 165-175.
 - ◆ Ascoli, K. (1999): Glaciers and glaciology: its distribution in the eastern part of Nepal Himalaya. *CHEP Data Report*, 2, Institute for Hydropheric-Atmospheric Sciences, Nagoya University and Department of Hydrology and Meteorology, IHMG of Nepal, 1-76.
 - ◆ 江口豊 (1993): ブータンの気候と乾燥谷. 地理, 38(10), 45-49.
 - ◆ Fujita, K., M. Nakawa, Y. Fujii and P. Pandayal (1997): Changes in glaciers in Hidden Valley, Mukut Himal, Nepal Himalayas, from 1974 to 1994. *Journal of Glaciology*, 42, 583-588.
 - ◆ Gansser, A. (1970): Lunana: the peaks, glaciers and lakes of northern Bhutan. *The Mountain World* 1968/69, 117-131.
 - ◆ Gansser, A. (1983): *Geology of the Bhutan Himalaya*. Birkhäuser Verlag, 181pp.
 - ◆ Iwata, S., Y. Ageta, N. Naito, A. Sakai, C. Narama and Karma (2002): Glacial lakes and their outburst flood assessment in the Bhutan Himalaya. *Global Environmental Research*, 6(1), 3-17.
 - ◆ Karma, Y., Ageta, N., Naito, S., Iwata and H. Yabuki (2003): Glacier distribution in the Himalayas and glacier shrinkage from 1963 to 1993 in the Bhutan Himalayas. *Bulletin of Glaciological Research*, 20, 29-40.
 - ◆ Komori, J., D. R. Gurung, S. Iwata and H. Yabuki (2004): Variation and lake expansion of Chhukha Glacier, Bhutan Himalayas, during the last 35 years. *Bulletin of Glaciological Research*, 21, 49-55.
 - ◆ 桑原武志 (2002): ブータン横断紀行. 講談社, 261pp.
 - ◆ Modis, P. K., D. Wagnon, S. R. Thompson, S. Kulkarni, D. R. Gurung and S.P. Joshi (2001): *Inventory of Glaciers, Glacial Lakes and Glacial Lake Outburst Floods: Monitoring and Early Warning Systems in the Hindu Kush-Himalayan Region: Bhutan*. ICMOD, Kathmandu, 227pp.
 - ◆ 内藤空 (2005): ブータン・ヒマラヤ・トルトミ・ルグ周氷河の変動について—2004年測量による統報—. 2004年度共同研究懇親会報告書「アジア各地における氷河変動の比較研究」. 北海道大学低温科学研究所, 69-73.
 - ◆ Naito, N., Y. Ageta, S. Iwata, Y. Matsuda, R. Suzuki, Karma and H. Yabuki (2006): Glacier shrinkages and climatic conditions around Jichu Dramo Glacier in the Bhutan Himalayas from 1998 to 2003. *Bulletin of Glaciological Research*, 23, 51-61.
 - ◆ Naito, N., T. Furuta, K. Shimizu, Y. Shirai, H. Yabuki and Y. Ageta (2007): Expansion rates of eleven moraine-dammed glacial lakes in northwestern part of Bhutan, derived from satellite images. *Proceedings of 1st Asia CMC Symposium: The state and fate of Asian Cryosphere*, Yokohama Institute for Earth Science, JAMSTEC, 111-112.
 - ◆ 鈴木亮平 (2004): ブータン・ルナ地方における氷河融解量の推定. 名古屋大学環境学研究科修士論文, 57pp.

